

W3C/Keio活動紹介

仕様はW3Cで策定。Web specs are standardizing at W3C.

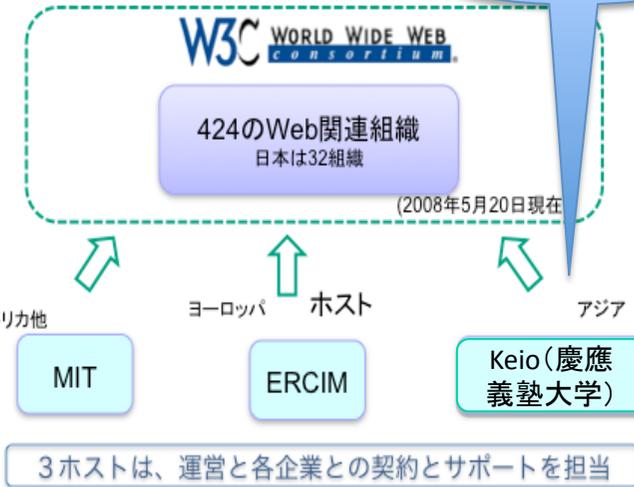
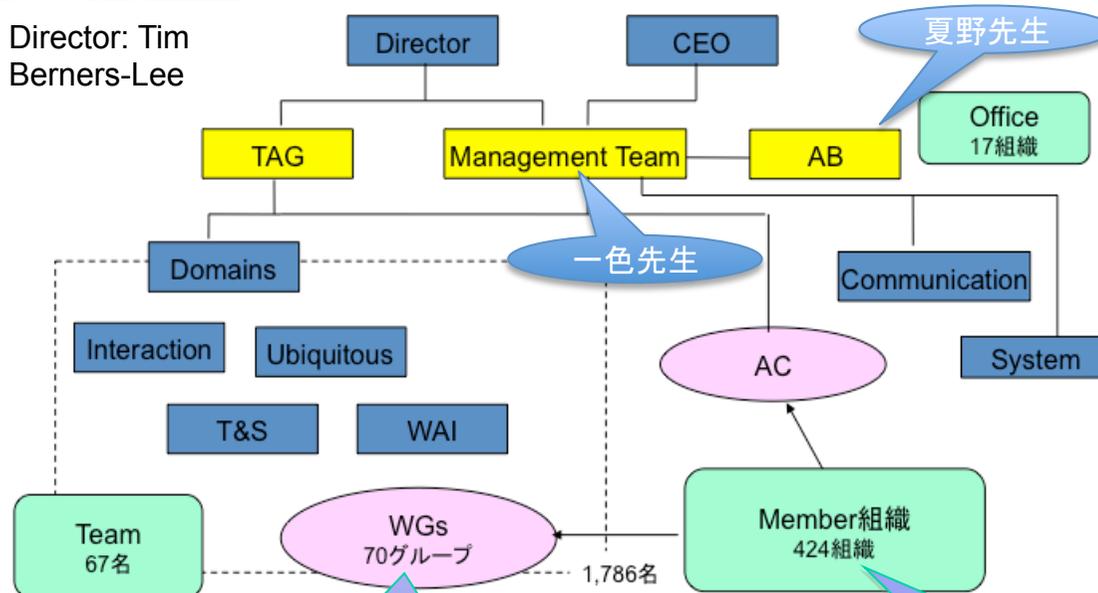


Director: Tim Berners-Lee



CEO: Dr. Jeffrey Jaffe

W3Cは、企業会費により運営される民間団体。
 国、特定企業からも、中立独立した仕様策定団体。



Web Standardizations
 仕様書作り:
 メンバ、有志がボランティアで実施
 Member volunteers

Money support 運営:
 会費による運営資金サポート。
 研究メンバの派遣。

最新のウェブ標準が提供する機能

- HTML5
 - Web Storage
 - Web Workers
 - Web Sockets
 - canvas
 - Drag and Drop API
- SVG(Scalable Vector Graphics)
- Geo Location APIs
- MMI/EMMA

W3Cで策定されている最新技術 Latest Web Technologies from W3C

HTML5 canvasデモ

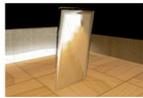
テキストマッピングは、各ブラウザに現在実装されている Canvas の機能で実現可能である。

最速チュウバカラ研究会 <http://d.hatena.ne.jp/gyuque/>
2009.2.11記事「Canvasによる3Dテキストマッピングとパフォーマンスチューニング」

<http://gyu.que.jp/jsclotch/>

<http://gyu.que.jp/jsclotch/miku.html>

<http://gyu.que.jp/jsclotch/touch.html>



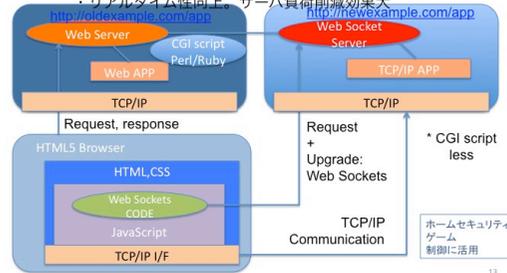
上山氏デモ、利用許可取得済み

Flashなど不要
で見れる！

Web Sockets API

ブラウザとサーバでソケットを張り、直接やり取りする仕様。

- ・クライアント/サーバ間のやりとりを効率化
- ・リアルタイム性向上、サーバ負荷削減効果大



Geolocation API

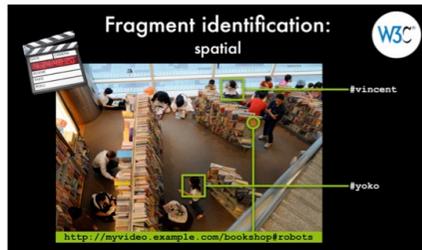
- ・位置情報を利用したサービスをもっと自由に開発することができます。Webへ機器の位置情報をあげるAPIを定義。



海外企業は、国際規格を利用して、世界規模で使えるサービス基盤を作り、市場を先行確保している。

Video in the Web :

映像の一部へ識別子を付け、Webから見られるようにする仕様



目的: セキュリティサービスなどへの展開。

サーバコンテンツ、家庭HDDへ外部からのアクセスが増える

<http://www.w3.org/2008/WebVideo/Fragments/>

SVG (Scalable Vector Graphics)の標準化と実装

携帯電話用SVG地図サービス(既に1000万端末以上に搭載済み)

☆SVGビューワーは、標準実装済みで、「防災ナビ」として、GPSと連携して位置特定と地図表示のサービスも提供されています。



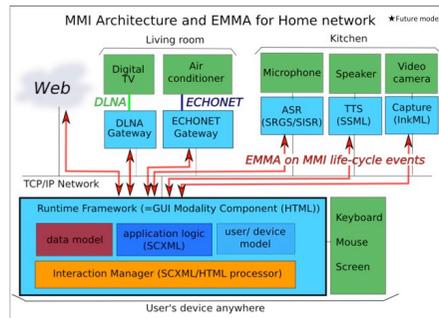
Drag and Drop API

タッチパネルなど多様な入力インターフェースを前提とするAndroid等のモバイル端末用アプリ開発において、このような入力関係のAPIが標準化されることは重要。



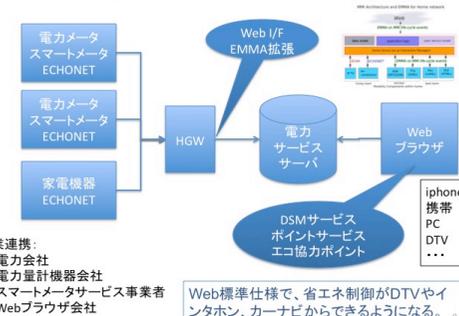
Webだけで
ゲームが作れる！

参照: Drag & Drop - HTML5 版 | Diaspar Journal <http://diaspar.jp/node/200>



ネットワークに流れるデータ形式を全てEMMAIに統一したモデル

★機器連携(スマートメータ連携)



- 企業連携:
1. 電力会社
 2. 電力量計機器会社
 3. スマートメータサービス事業者
 3. Webブラウザ会社

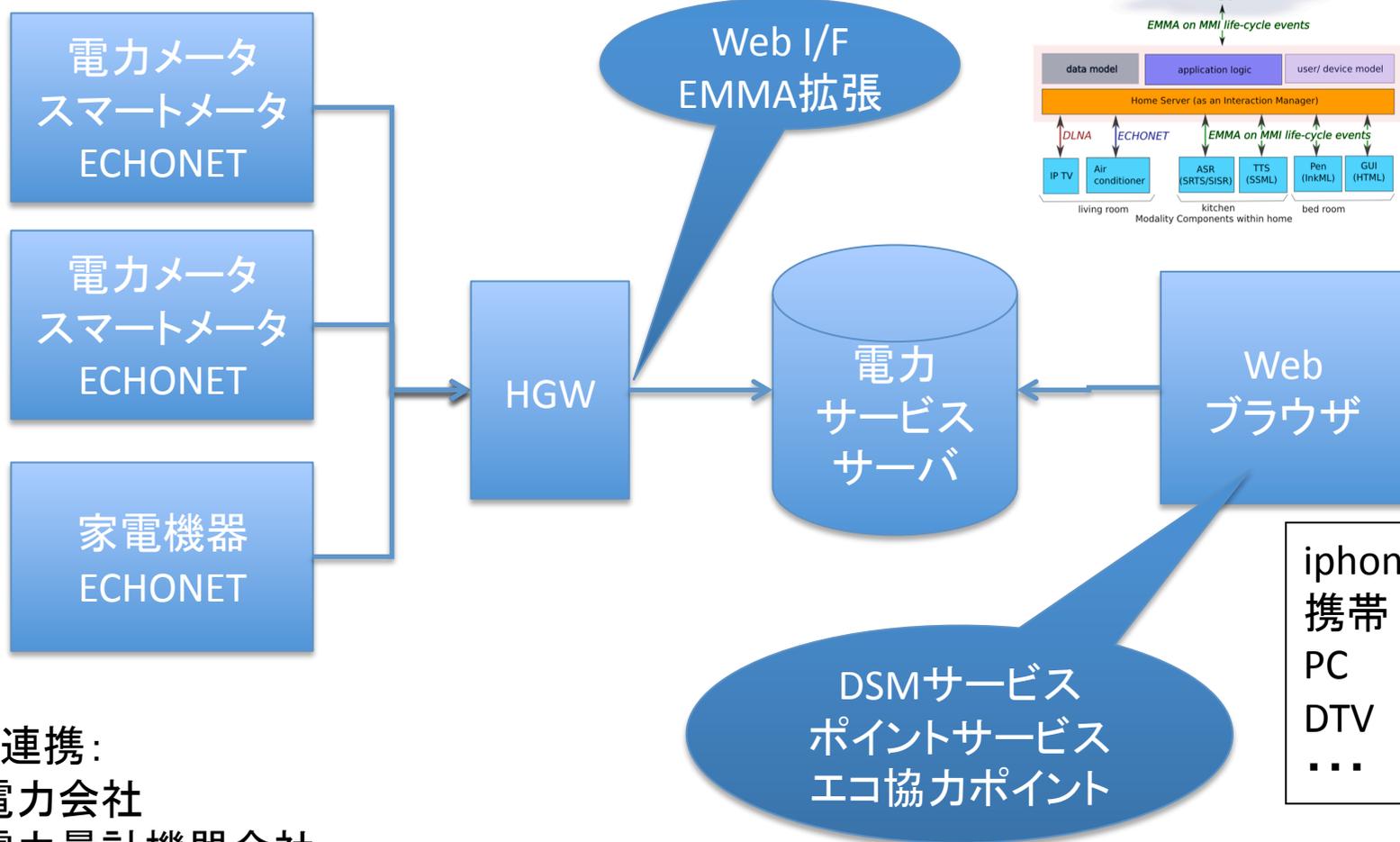
Web標準仕様で、省エネ制御がDTVやインタホン、カーナビからできるようになる。

HTML5がもたらすこと

1. どんなデバイスでも共通のコンテンツで良くなる。携帯用、PC用、DTV用、インタホン用、カーナビ用...などへ専用のコンテンツを作らなくて良くなる。
2. 後からの、追加プログラムが不要になる。例えば、flash等のインストール作業などお客様を煩わせなくて良くなる。
3. どのデバイスでも、表示が同じになる。エラー時の扱いも規定して共通化している。
4. リアルタイム性、サーバ負荷低減、など付随機能の強化

Web仕様が大きく変わること、サービスが変化してくる。すぐに、コンテンツ事業者、デバイス事業者、放送通信事業者へ新しい使い方が波及してくる。

★機器連携(スマートメータ連携)



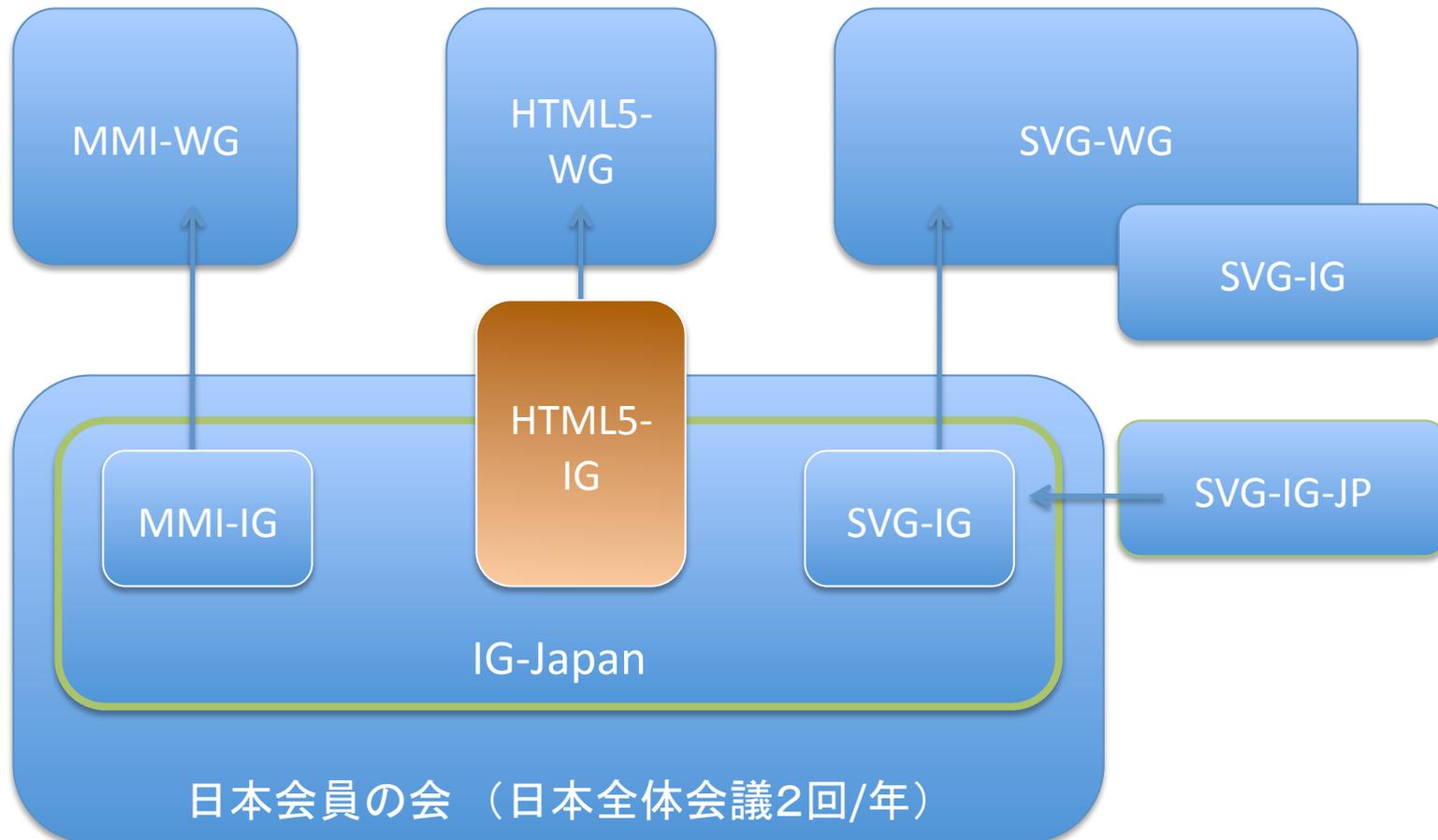
企業連携:

- 1、電力会社
- 2、電力量計機器会社
- 3、スマートメータサービス事業者
- 3、Webブラウザ会社

★技術:セマンティックWeb の応用

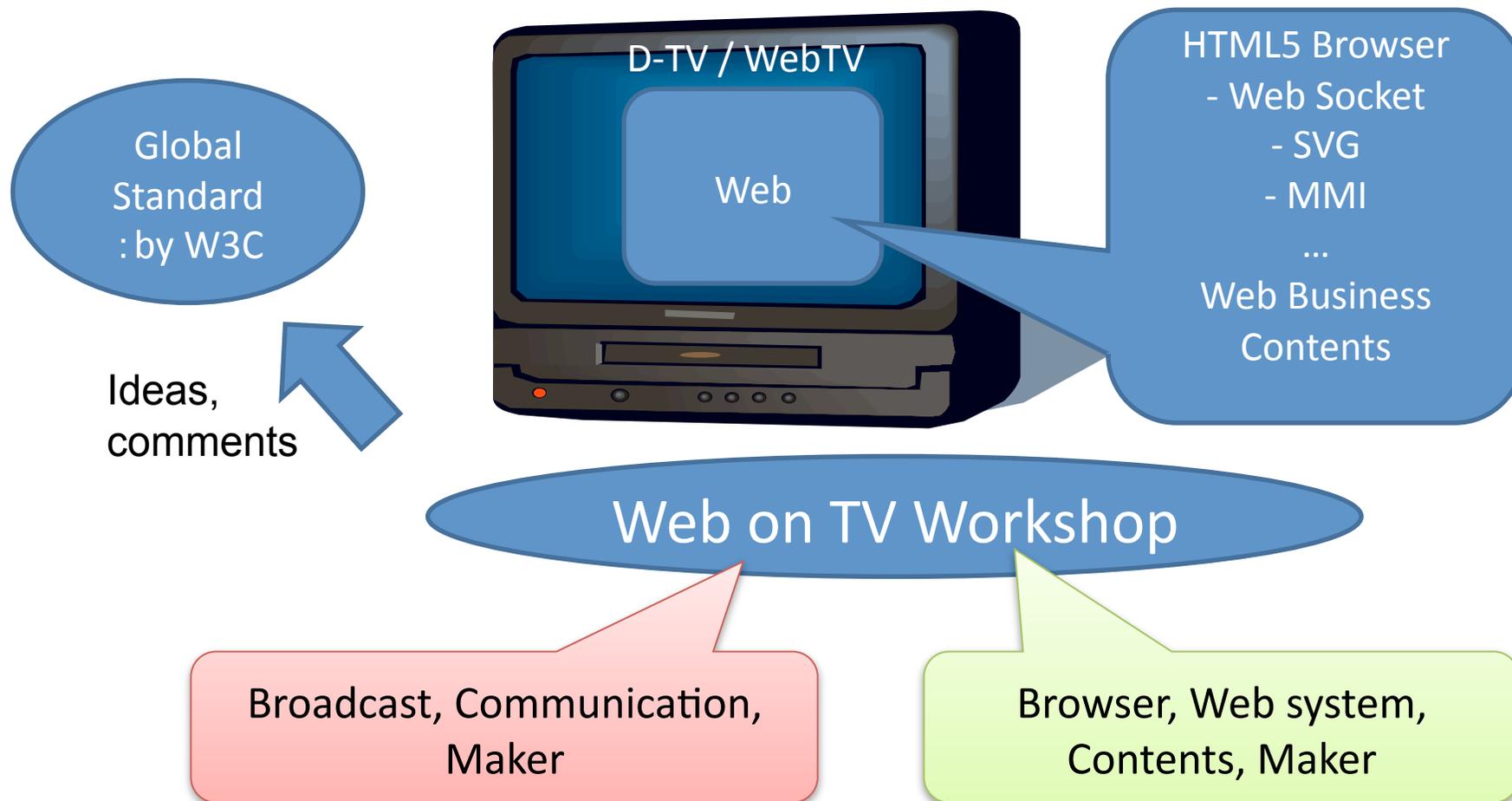
日本会員サービス2: HTML5 Japan IG (J-IG)(12月から開始)

日本会員の会の中に、会員対象としたIG-Japanを1つ組織。HTML5から始めるが、将来は、ほかテーマを論議し、日本からの発信を目指したい。



活動: F2Fテーマ部会 = 1回/期。(全体会議の時は兼ねる)
情報は、共通メールリストにて運営。個別は、テーマリーダをつけて運用。

W3C Web on TV workshop /Sep. 2-3, 2010

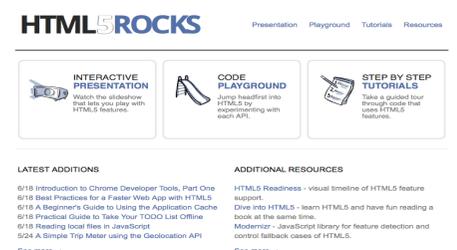


<http://www.w3.org/2010/09/web-on-tv/cfp.html>

HTML5関係とW3C関係URL

HTML5関係（コミュニティ、メンバ企業含む）

- * <http://www.w3.org/TR/html5/>
 - * <http://www.html5rocks.com/>
 - * <http://html5.jp/>
- ほか多数あり。



W3C全般について:

- * W3Cトップページ=<http://www.w3.org/>
- * W3Cについて=<http://www.w3.org/Consortium/>
- * 初めて訪れる方向けの説明=<http://www.w3.org/Consortium/new-to-w3c.html>
- * ★申し込みページ: <http://www.w3.org/Consortium/application.php3>
- * 日本語による記入方法ガイド: W3c Application Step 1.pdf

特許方針について

- * W3C Patent Policy=<http://www.w3.org/Consortium/Patent-Policy-20040205/>
- * Patent Policy FAQ=<http://www.w3.org/2003/12/22-pp-faq.html>
- * Implementation of Patent Policy=<http://www.w3.org/2004/01/pp-impl/>

W3C文書の日本語翻訳集=[http://www.w3.org/2005/11/Translations/Query?](http://www.w3.org/2005/11/Translations/Query?titleLanguageMatch=&lang=ja&search2=Submit)

[titleLanguageMatch=&lang=ja&search2=Submit](http://www.w3.org/2005/11/Translations/Query?titleLanguageMatch=&lang=ja&search2=Submit)

標準準拠確認ツール (Validator)=http://validator.w3.org/#validate_by_uri

【参考】

W3C案内情報 URL等

入会に興味ある方へ案内ください。また、W3C/Keio keio-contact@w3.orgまでご一報ください。

1、W3C活動紹介

現在は、正式版は英語になっていますが、ご活用ください。

★説明ページ: <http://www.w3.org/Consortium/join>

★W3C全般: <http://www.w3.org/Consortium/about-w3c> (英語)

★日本語版「W3C活動概要」:

<http://www.w3.org/2009/04/w3c-keio-chronology/leaflet-200811.pdf>

2、入会申込書(案内)

入会は、3ステップになっており、下記の申し込み書ページからステップ1を送ってください。すると米国の本部からメールが来ます。その後、ステップ2へ進み、契約書をやり取りして完了。との流れになります。

★申し込みページ: <http://www.w3.org/Consortium/application.php3>

* 日本語による記入方法ガイド: [W3c Application Step 1.pdf](#)

2、契約書雛形(英語) 上記で触れた申し込みページから具体的な契約書(Membership Agreement)へのリンクがあります。

★契約は、日本会員の契約は、慶応義塾大学のSFC研究所と締結します。

★会費は、年間売上57億円以上の企業殿は、740万円/年(10.2.1現在)。

なお、年間売上57億円以下の場合は、85万円/年(10.2.1現在)